

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2016 年第 33 週
(8/15～8/21)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

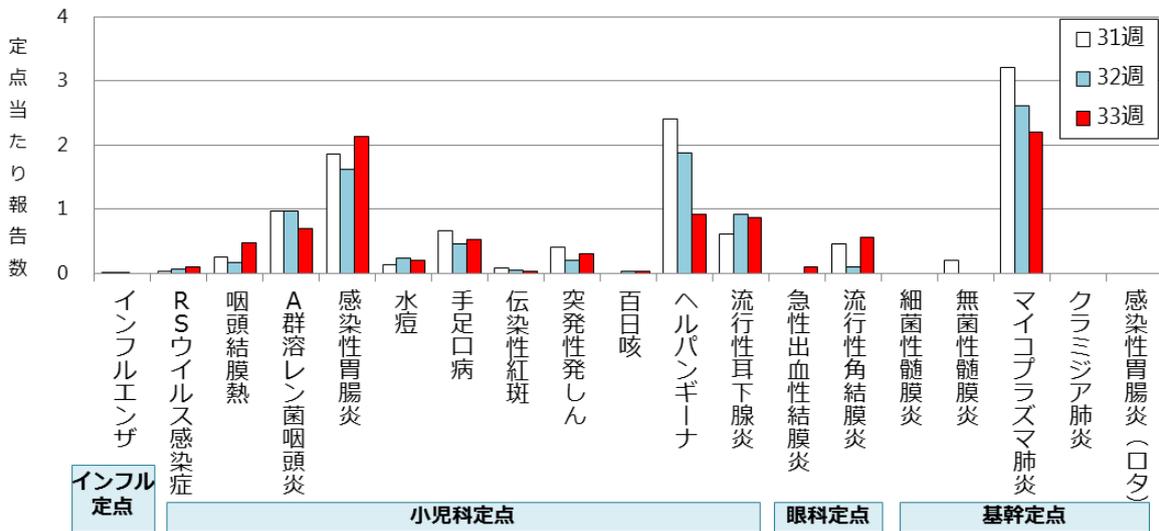
- ◇ 流行性耳下腺炎は、前週に引き続き、患者数の多い状態で推移しています。
- ◇ 国内で麻疹患者が報告されています。 →トピックス

■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 12 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 3 例（O157:1 例、O26:1 例）
- 4 類感染症：E 型肝炎 1 例
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 2 例

● 2016 年累計

1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	283 例	
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	30 例	
4 類感染症	E 型肝炎	1 例	デング熱 2 例
	A 型肝炎	1 例	マラリア 1 例
	つつが虫病	1 例	レジオネラ症 22 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	6 例	侵襲性髄膜炎菌感染症 3 例
	ウイルス性肝炎	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症 34 例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6 例	水痘（入院例に限る） 5 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	梅毒 18 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	播種性クリプトコックス症 3 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	風しん 2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■トピックス

《麻しん》

◆ 国内で患者が報告されています

千葉県内で、7月下旬から8月21日にかけて、麻しん患者が立て続けに10人報告されています。患者から検出された麻疹ウイルスは海外由来の遺伝子型であり、塩基配列もほぼ一致しているとのことですが、患者全員に海外渡航歴はなく、今回報告されている患者については、国内感染と考えられています。

日本では、国内土着のウイルスによる感染事例は報告されなくなり、2015年3月に麻しんの排除状態にあることがWHO西太平洋事務局により認定されました。現在、国内で報告される患者は、海外由来のウイルスによるもので、輸入症例または輸入症例を発端とする国内感染例と考えられており、2015年以降、患者報告数は減少しています。

しかし、一旦ウイルスが国内に持ち込まれると、麻しんに対する免疫のない人の間で感染が拡大し、再び国内で流行を起こす可能性もあります。

今後、麻しんの排除状態を維持していくためには、麻しんの予防接種を徹底するとともに、麻しん患者の発生を注意深く監視し、患者発生時には迅速な感染拡大防止対策を行うことが重要です。

◆ 予防接種の徹底を

麻しんは感染力が極めて強く、空気感染、飛沫感染、接触感染など様々な経路で伝播するため、ワクチン接種が唯一の予防方法です。

麻しんの予防接種は、風しんとともに、2回の定期接種が予防接種法により規定されています。定期接種を確実に受け、個人と集団の免疫を高めることが麻しんの流行を防ぐ上で重要です。

麻しん定期接種対象者

第1期	1歳以上2歳未満
第2期	5歳以上7歳未満の者であって 小学校就学前の1年間

また、海外へ渡航される方で予防接種を受けていない方も、渡航前に予防接種を受けることが推奨されます。麻しんは世界各地で発生が報告されており、WHO西太平洋事務局によると、2016年7月時点において、モンゴル、中国、マレーシアで罹患率が高くなっています。

★ 麻しんとは

麻しんウイルスの感染による発熱、発疹を特徴とする全身感染症です。感染力が極めて強く、免疫を持たない人が暴露されると90%以上が感染するとされています。約10日の潜伏期の後、発熱・咳・鼻水などかぜのような症状が出て、2～3日熱が続いた後、高熱と発疹が現れます。肺炎や脳炎、感染後数年経過してから発症する亜急性硬化性全脳炎など重篤な合併症を起こすこともあり、ワクチンによる予防が重要な感染症です。

★ 感染症法における取扱い

麻しんは、感染症法において5類感染症全数把握対象疾患に定められており、患者を診断した医師は、直ちに保健所に届け出なければなりません。

また、麻しんの届出をされた場合は、県または岐阜市においてPCR検査を実施しています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。(保健医療課 HP)

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-kijun.html>

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>

麻しん患者報告数

	全国	岐阜県
2010年	447	7
2011年	439	3
2012年	283	6
2013年	229	0
2014年	462	3
2015年	35	1
2016年*	19	0

*全国：1～32週、岐阜県：1～33週